

(1) 岡山大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	第1学期	2021年4月9日	～	2021年6月10日
	第2学期	2021年6月11日	～	2021年8月11日
	第3学期	2021年10月1日	～	2021年12月1日
	第4学期	2021年12月2日	～	2022年2月9日
試験期間	第1学期	2021年6月上旬		
	第2学期	2021年8月上旬		
	第3学期	2021年11月下旬		
	第4学期	2022年2月上旬		
授業時間	場所	津島キャンパス	鹿田キャンパス	
	1限	8:40～9:30	8:40～9:40	
	2限	9:40～10:30	9:50～10:50	
	3限	10:45～11:35	11:00～12:00	
	4限	11:45～12:35	12:50～13:50	
	5限	13:25～14:15	14:00～15:00	
	6限	14:25～15:15	15:10～16:10	
	7限	15:30～16:20	16:20～17:20	
	8限	16:30～17:20	17:30～18:30	
	9限	17:30～18:20		
10限	18:30～19:20			

※令和3年4月から津島キャンパスが50分授業へ変更。ただし、医学部・歯学部・薬学部において鹿田キャンパスで行われる授業に限り、60分授業とする。

※夜間主コースの授業については、第1、第2学期を前期授業期間とし、第3、第4学期を後期授業期間とする。

※補講については、土曜日又は授業担当教員が指定した日に行う。

② アクセス(案内図)

津島キャンパスへ

- JR岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から約7分
 - JR津山線「法界院」駅下車、徒歩約10分
 - JR岡山駅→岡電バス
- ① 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車。「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車。
(所要時間約7～10分)
※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。
なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
 - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車。乗車。「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車。(所要時間約30分)
 - ③ 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「運転免許センター」行きに乗車。「岡山大学筋」で下車。大学まで徒歩。
(所要時間 バス約10分、徒歩約7分)

鹿田キャンパスへ

- JR岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から約7分
- JR岡山駅→岡電バス
 - ① 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル4番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車。「大学病院」(構内バス停)で下車。又は【12】系統「岡南営業所」行きに乗車、「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約15分)
 - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル3番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き、【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き、【62】系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行きに乗車。「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約15分)
- 路面電車
岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車。終点「清輝橋」下車。大学まで徒歩。
(所要時間 電車約10分、徒歩約8分)



岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」

(<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

③ 担当窓口

学務部学務企画課

所在地： 津島地区東キャンパス 一般教育棟A棟2階



津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設(ピーチユニオン) 大学会館	E4	学生総合支援センター学生相談室 学務部 グローバル・パートナーズ グローバル人材育成院	E6	清水記念体育館
E2	全学教育・学生支援機構 学生総合支援センターキャリア・学生支援室 アドミッションセンター	E5	一般教育棟 全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター障がい学生支援室 学生総合支援センタースポーツ支援室 グローバル・ディスカバリー・プログラム	E7	第二体育館
E3	保健管理センター 一般教育棟			E8	第一武道館
E4	全学教育・学生支援機構 高等教育開発推進センター 基幹教育センター			E9	第二武道館
				E10	体育管理施設
				E11	校友会文化系クラブ棟
				E12	校友会体育系クラブ棟
				E13	校友会トレーニング棟
				E14	合宿所

電話： 086-251-7186(直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

第1・2学期:4月2日(金)15時まで 第3・4学期:9月24日(金)15時まで

所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。
(申込期限は延長しません。)

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

※コロナ禍の場合、所属大学の単位互換担当者を通じて以下資料を配布する可能性があります。

1. 第1・2学期:4月9日頃, 第3・4学期:10月1日頃に, 以下の印刷物を配付します。
対面授業科目の履修者は, 必ず受け取りに来てください。また, その際, 講義室の場所をお知らせしますので, 初回授業までに時間の余裕を持って来てください。
 - ① キャンパスマップ (学務部学務企画課)
 - ② 学生証(単位互換履修生証) (学務部学務企画課)
 - ③ 自動車通学許可申請書類(希望者のみ) (学務部学務企画課)
2. 岡大ID・パスワード通知(希望者のみ) (情報統括センター)
3. 自動車通学を希望する場合は, 許可が必要です。(駐車料金 有料)

遠隔授業科目を履修する方

申込手続完了後に, 岡山大学から履修生所属大学の単位互換担当者を通じて, 上記「1~3」の書類を, 配布します。

・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は, 図書館カウンターで, 単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 岡山大学 学習支援システムmoodleについて

本学の多くの授業は, moodleという学習支援システムを使用します。このシステムは主にレジュメ等の資料共有や, レポート提出等で利用いたします。担当教員がmoodleを使用すると判断した場合, 本学単位互換担当者が手続を進め, その後「(ログインに必要な)岡大IDやパスワード」, 「moodleの手引き」を単位互換生へお渡ししますので, 必ず一読し, 初回授業までにログイン等の手続を終えておいてください。

(※詳細は申込完了後に別途連絡いたします。)

・ コロナ禍での実施について

本学内外の新型コロナウイルス感染拡大状況により, 一部実施要項の内容が変更となる可能性がございますこと, ご理解いただいたうえで, お申込みください。変更が生じた場合, 申込後に所属大学の単位互換事務担当者を通じて連絡いたします。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html
(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

・遠隔授業科目

オンラインの形式: 双方向ライブ型・Zoom 使用 (文学部)				01101																
授業科目名: フランス語コミュニケーション1			担当教員氏名: 延味 能都 萩原 直幸																	
Communication in French 1			50 分 × 2 (火曜1・2限)																	
履修年次 1~4	2単位	第1・2学期	2コマ	定員 若干名																
<p>【授業の目的】 フランス語の基本的な運用能力を身につける * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>第1週: 動詞 être / 職業・身分を言う</td> <td>第9週: 指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する</td> </tr> <tr> <td>第2週: 形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う</td> <td>第10週: Il y a の構文 / 位置や場所を尋ねる・言う</td> </tr> <tr> <td>第3週: 第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う</td> <td>第11週: 関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する</td> </tr> <tr> <td>第4週: 疑問文の作りかた / 話せる言語を言う</td> <td>第12週: 指示形容詞 / 持ち主を言う, 不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する</td> </tr> <tr> <td>第5週: 動詞 avoir / 家族について話す</td> <td>第13週: 縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う, 天候の表現 / 天候について話す</td> </tr> <tr> <td>第6週: 不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞 / 年齢を尋ねる, 言う</td> <td>第14週: 時刻の表現 / 時刻を尋ねる, 言う</td> </tr> <tr> <td>第7週: 動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う</td> <td>第15週: 試験(オーラル)</td> </tr> <tr> <td>第8週: 定冠詞, 形容詞の用法 / 理由をたずねる, 言う</td> <td></td> </tr> </table>					第1週: 動詞 être / 職業・身分を言う	第9週: 指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する	第2週: 形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う	第10週: Il y a の構文 / 位置や場所を尋ねる・言う	第3週: 第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う	第11週: 関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する	第4週: 疑問文の作りかた / 話せる言語を言う	第12週: 指示形容詞 / 持ち主を言う, 不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する	第5週: 動詞 avoir / 家族について話す	第13週: 縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う, 天候の表現 / 天候について話す	第6週: 不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞 / 年齢を尋ねる, 言う	第14週: 時刻の表現 / 時刻を尋ねる, 言う	第7週: 動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う	第15週: 試験(オーラル)	第8週: 定冠詞, 形容詞の用法 / 理由をたずねる, 言う	
第1週: 動詞 être / 職業・身分を言う	第9週: 指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する																			
第2週: 形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う	第10週: Il y a の構文 / 位置や場所を尋ねる・言う																			
第3週: 第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う	第11週: 関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する																			
第4週: 疑問文の作りかた / 話せる言語を言う	第12週: 指示形容詞 / 持ち主を言う, 不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する																			
第5週: 動詞 avoir / 家族について話す	第13週: 縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う, 天候の表現 / 天候について話す																			
第6週: 不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞 / 年齢を尋ねる, 言う	第14週: 時刻の表現 / 時刻を尋ねる, 言う																			
第7週: 動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う	第15週: 試験(オーラル)																			
第8週: 定冠詞, 形容詞の用法 / 理由をたずねる, 言う																				
<p>【テキスト】 教科書: FLASH! Methode de francais 第3版、駿河台出版社 価格 2,400 円 (CD 付) 販売店: 生協</p>																				
<p>【参考図書】 教室にて適宜紹介する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み 30% (会話の授業なので, 授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる) 宿題 30% 学期末試験 40%</p>																				

オンラインの形式:双方向ライブ型・Zoom 使用 (文学部)				01102																		
授業科目名:フランス語コミュニケーション2			担当教員氏名:延味 能都 萩原 直幸																			
Communication in French 2			50分×2(火曜1・2限)																			
履修年次 1~4	2単位	第1・2学期	2コマ	定員 若干名																		
【授業の目的】 フランス語の基本的な運用能力を身につける * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。																						
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>第1週:部分冠詞 / 食習慣について話す</td> <td>第10週:不規則動詞 vouloir / 目的を言う,許可を求め。命令法 / 人を誘う・禁止する</td> </tr> <tr> <td>第2週:中性代名詞 / 値段を尋ねる・言う</td> <td>第11週:近接未来 aller + 不定詞/ 近い未来の出来事について話す</td> </tr> <tr> <td>第3週:代名動詞 / 習慣について話す</td> <td>第12週:直説法単純未来 / 未来の出来事について話す。条件法現在(1) / 条件・仮定を述べる</td> </tr> <tr> <td>第4週:不規則動詞 / 日常の生活について話す</td> <td>第13週:条件法現在(2) / 願望を述べる</td> </tr> <tr> <td>第5週:直説法複合過去(1) / 過去のことを話す</td> <td>第14週:比較級 / 比較する</td> </tr> <tr> <td>第6週:直説法複合過去(2) / 期間を言う</td> <td>第15週:試験(オーラル)</td> </tr> <tr> <td>第7週:直説法半過去 / 過去の習慣について話す</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第8週:人称代名詞(直接・間接目的語) / 変化を表す</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9週:不規則動詞 pouvoir, devoir / できること・しなければならないことを言う</td> <td></td> </tr> </table>					第1週:部分冠詞 / 食習慣について話す	第10週:不規則動詞 vouloir / 目的を言う,許可を求め。命令法 / 人を誘う・禁止する	第2週:中性代名詞 / 値段を尋ねる・言う	第11週:近接未来 aller + 不定詞/ 近い未来の出来事について話す	第3週:代名動詞 / 習慣について話す	第12週:直説法単純未来 / 未来の出来事について話す。条件法現在(1) / 条件・仮定を述べる	第4週:不規則動詞 / 日常の生活について話す	第13週:条件法現在(2) / 願望を述べる	第5週:直説法複合過去(1) / 過去のことを話す	第14週:比較級 / 比較する	第6週:直説法複合過去(2) / 期間を言う	第15週:試験(オーラル)	第7週:直説法半過去 / 過去の習慣について話す		第8週:人称代名詞(直接・間接目的語) / 変化を表す		第9週:不規則動詞 pouvoir, devoir / できること・しなければならないことを言う	
第1週:部分冠詞 / 食習慣について話す	第10週:不規則動詞 vouloir / 目的を言う,許可を求め。命令法 / 人を誘う・禁止する																					
第2週:中性代名詞 / 値段を尋ねる・言う	第11週:近接未来 aller + 不定詞/ 近い未来の出来事について話す																					
第3週:代名動詞 / 習慣について話す	第12週:直説法単純未来 / 未来の出来事について話す。条件法現在(1) / 条件・仮定を述べる																					
第4週:不規則動詞 / 日常の生活について話す	第13週:条件法現在(2) / 願望を述べる																					
第5週:直説法複合過去(1) / 過去のことを話す	第14週:比較級 / 比較する																					
第6週:直説法複合過去(2) / 期間を言う	第15週:試験(オーラル)																					
第7週:直説法半過去 / 過去の習慣について話す																						
第8週:人称代名詞(直接・間接目的語) / 変化を表す																						
第9週:不規則動詞 pouvoir, devoir / できること・しなければならないことを言う																						
【テキスト】 教科書:FLASH! Methode de francais 第3版、駿河台出版社 価格 2,400 円(CD 付) 販売店:生協																						
【参考図書】 教室にて適宜紹介する。																						
【成績評価の方法】 授業への取り組み 30% (会話の授業なので、授業中にだまっていたらこの部分の評価が低くなる) 宿題 30% 学期末試験 40%																						

オンラインの形式:オンデマンド型・Moodle 使用 (法学部) ※対面授業へ変更の可能性あり				01103
授業科目名:法哲学			担当教員氏名:大森 秀臣	
Philosophy of Law			90分(金曜9限)	
履修年次 3・4	2単位	前期	1コマ	定員 特になし
【授業の目的】 本講義は、法に関する原理的・根本的な問題を検討することを通して、法への根源的な問いを考える能力や、法への多角的な視点を養うことを目的とする。				
【授業内容】 本講義は、「法とは何か」「法的なものの考え方の特徴とは何か」など、法の根源や全体像、法的思考にかかわるさまざまな問いについて解説する。 01 ガイダンス+法哲学とは何か 02 法とは何か 03 法規範 04 法の妥当性 05 法と道徳 06 悪法問題 07 法による道徳の強制 08 パターナリズム 09 権利と人権 10 法的思考の特徴 11 裁判の特徴と機能 12 日本の法解釈論争 13 法の解釈 14 法の三類型 15 (小テスト:順不同) 16 期末試験				
【テキスト】 とくに指定しないが、以下の参考図書を推奨する。				
【参考図書】 瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、二〇一四年) 平野仁彦・亀本洋・服部高宏『法哲学』(有斐閣、二〇〇二年)				
【成績評価の方法】 普段の取り組みを評価するために小テスト(30点)を実施し、期末試験(70点)と合わせて総合的に成績評価する。				

オンラインの形式:オムニバス形式のため双方向ライブ型&オンデマンド型 ・Teams & Moodle 使用(医学部保健学科)				01104
授業科目名:保健科学入門			担当教員氏名:齋藤 信也	
Introduction of Health Sciences			60分×2(火曜1・2限)	
履修年次 1	1単位	第1学期	2コマ	定員 若干名
<p>【授業の目的】 健康と病気の考え方, 健康管理, 疾病予防, 保健活動などについて, 社会情勢やトピックスを交えて学ぶ。 授業をとおして学生自身が, より健康な日常生活の実践を意識することにより, 保健医療従事者としての自覚と責任感を養う。</p>				
<p>【授業内容】 ・発達する自己 ・大学生活とメンタルヘルス ・人間関係形成技術の基本 ・動脈硬化 ・医療放射線被曝 ・臓器移植 ・白血病と骨髄移植 ・院内感染 ・期末試験</p>				
<p>【テキスト】 特に指定しない。 必要があれば授業の中で資料を配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 評価方法は期末試験による。</p>				

オンラインの形式:オンデマンド型・Moodle 使用 (工学部/教養教育科目)				01105-1
授業科目名:機械システム系概論			担当教員氏名: 佐藤 治夫, 竹元 嘉利	
Introduction of mechanical and system engineering,				
履修年次 1~4	0.5単位	第1学期 集中	4コマ	第1回:4月26日~5月9日 第2回:5月10日~5月16日 第3回:5月17日~5月23日 第4回:5月24日~5月30日
【授業の目的】 機械システム系工学の全般にわたる基礎的概念の修得と学問領域に関する意義・目的の把握				
【授業内容】 機械ならびにシステムに関する概要を工学系の学生に分かりやすく紹介する				
【テキスト】 適宜, 資料配付。				
【参考図書】 適宜, 資料配付。				
【成績評価の方法】 レポート 100%(ただし授業中に演習を実施する場合にはそれも考慮する)				

オンラインの形式:オンデマンド型・Moodle 使用 (工学部/教養教育科目)				01105-2
授業科目名:電気通信系概論			担当教員氏名: 船曳 信生, 深野 秀樹, 林 靖彦, 上原 一浩	
Introduction to Electrical and Communication				
履修年次 1~4	0.5単位	第1学期 集中	4コマ	第1回:4月26日~5月9日 第2回:5月10日~5月16日 第3回:5月17日~5月23日 第4回:5月24日~5月30日
【授業の目的】 (1) 自然と人類の共生の視点から電気通信系工学についての理解を深める。 (2) 電気電子工学の「もの」や「原理」を理解する。 (3) 通信ネットワークの「しくみ」を把握する。				
【授業内容】 この講義では、電気通信系工学の学問的基礎の導入とこの分野への広い興味を喚起する。具体的には、電気通信系工学に関する基礎的概念とそれに根ざした先端の話題の紹介を通じて、電気通信系工学の重要性を多面的、多角的に学ぶ。				
【テキスト】 適宜, 資料配付。				
【参考図書】 適宜, 資料配付。				
【成績評価の方法】 レポート 100%(ただし授業中に演習を実施する場合にはそれも考慮する)				

オンラインの形式:オンデマンド型・Moodle 使用 (工学部/教養教育科目)				01105-3
授業科目名:情報系概論			担当教員氏名: 高橋 規一, 阿部 匡伸, 太田 学, 門田 暁人	
Introduction to Information Technology				
履修年次 1~4	0.5単位	第1学期 集中	4コマ	第1回:4月26日~5月9日 第2回:5月10日~5月16日 第3回:5月17日~5月23日 第4回:5月24日~5月30日
【授業の目的】 情報系工学の全般にわたる基礎的概念の修得と学問領域に関する意義・目的の把握				
【授業内容】 情報系の技術の基礎知識を学ぶとともに, 各研究分野における先端的な話題を聞いて情報系の学問を習得する意義と目的を理解する。				
【テキスト】 適宜, 資料配付。				
【参考図書】 適宜, 資料配付。				
【成績評価の方法】 レポート 100%(ただし授業中に演習を実施する場合にはそれも考慮する)				

オンラインの形式:オンデマンド型・Moodle 使用 (工学部/教養教育科目)				01105-4
授業科目名:化学生命系概論			担当教員氏名: 井出 徹, 岸本 昭, 妹尾 昌治, 依馬 正	
Introduction to Chemistry and Bioengineering				
履修年次 1~4	0.5単位	第1学期 集中	4コマ	第1回:4月26日~5月9日 第2回:5月10日~5月16日 第3回:5月17日~5月23日 第4回:5月24日~5月30日
<p>【授業の目的】 化学から生命工学の全般にわたる基礎的概念の修得と学問領域に関する意義・目的の把握及び, 化学生命系の工学における位置付けを理解する。</p>				
<p>【授業内容】 身のまわりの多種多様な有機・無機化合物や生命現象を題材に、その性質やしくみおよびその利用について化学の視点から理解し、工学の中における重要性を学ぶ。さらに生命工学とはどのような境界領域と考えればよいのかを学ぶと同時に最新の研究の意義と重要性を学ぶ。</p>				
<p>【テキスト】 適宜, 資料配付。</p>				
<p>【参考図書】 適宜, 資料配付。</p>				
<p>【成績評価の方法】 レポート 100%(ただし授業中に演習を実施する場合にはそれも考慮する)</p>				

オンラインの形式: 双方向ライブ型・Zoom 使用 (環境理工学部) ※対面授業へ変更の可能性あり				01106	
授業科目名: 応用数理特論A			担当教員氏名: 大林一平		
Topics in Applied Mathematics A					
履修年次 3~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(金曜 5・6 限)	
<p>【授業の目的】 位相的データ解析, 特にパーシステントホモロジーの入門的項目を学び, 位相的データ解析への興味関心の関心を高めその基礎的部分への理解を深めることを目標とする.</p>					
<p>【授業内容】 具体的な内容としては次を予定している.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 位相的データ解析の概要 ● パーシステントホモロジーによるデータ解析の体験 ● 位相的データ解析の基礎の数学であるホモロジー理論の学習 <p>データ解析体験のためには PC による実習を行う. そのため受講者は Windows でも Mac でも良いが PC による実習環境を準備する必要がある. また実習では Python を利用する予定である.</p> <p>またホモロジー理論の学習については計算機で孔の数を数えるにはどうすればいいか, という問題意識のもとで講義を進めていく.</p> <p>前提知識等: 線形代数は必須である. その他代数の基礎的内容(商集合, 準同型定理など)を知っていることが望ましい. 実習に関してはプログラミングに関する基礎的知識と経験があることを強く推奨する. Python が使えるとなおよい.</p>					
<p>【テキスト】 特に指定しない</p>					
<p>【参考図書】 次の本の 1,2 章は講義内容の数学的基礎として役立つ 雪江 明彦「代数学 1 群論入門」 またホモロジー理論についてより詳しいことを知りたい学生は次の図書などをお勧めする 河内 明夫「線形代数からホモロジーへ」 平岡 裕章「タンパク質構造とトポロジー —パーシステントホモロジー群入門—」</p>					
<p>【成績評価の方法】 実習レポートと定期テストによって評価する. この 2 つの比率は 1:1 とする.</p>					

オンラインの形式: 双方向ライブ型・Zoom 使用 (グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01107						
授業科目名: Culture and Illness			担当教員氏名: 上杉 健志 Takeshi Uesugi							
Culture and Illness			月・木(7・8限)							
履修年次 1~4	2 単位	第 1 学期	4コマ	定員 5 名						
【授業の目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・ Understand some of the key concepts in medical anthropology. ・ Learn to take notes (lectures and discussions). ・ Learn to read an ethnography in medical anthropology. ・ Learn to apply theoretical concept to cases. 										
【授業内容】 <p>Is epilepsy a neurological disorder or a sign of blessing? Are brain dead individuals really dead? Is a fetus a person? Is a parasite part of our body? Is shamanism a hoax? Are chemical manufacturers “poisoners”? In this class we re-consider what seems like natural categories such as life and death, or body and disease, via cross-cultural examinations of medical beliefs.</p> <p>Students will be exposed to various case studies from around the world in which cultural differences in medical beliefs have led to conflicts, and learn basic concepts and ways of thinking in medical anthropology.</p>										
【テキスト】 <p>Anne Fadiman, 1997. Spirit Catches You and You Fall Down: A Hmong Child, Her American Doctors, and the Collision of Two Cultures. Farrar, Strauss and Giroux.</p>										
【参考図書】										
【成績評価の方法】 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">Participation</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Reading Notes</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Take-home Exam</td> <td style="text-align: right;">50 %</td> </tr> </table>					Participation	30%	Reading Notes	20%	Take-home Exam	50 %
Participation	30%									
Reading Notes	20%									
Take-home Exam	50 %									

オンラインの形式: 双方向ライブ型・Zoom 使用 (グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01108	
授業科目名: Anthropology of Disaster			担当教員氏名: 上杉 健志 Takeshi Uesugi		
Anthropology of Disaster			月・木(5・6限)		
履修年次 1~4	2 単位	第2学期	4コマ	定員 5名	
【授業の目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・Understand some of the key social science approaches to disasters. ・Explore connections between “spectacular disasters” and “quiet disasters” and be able to articulate it in essay format. 					
【授業内容】 <p>“Disasters” such as pandemics and earthquakes produce terrible sufferings, but they can also provide many opportunities. They offer the survivors with occasions to reflect on their own situation, readjust their living, and renew communal ties. But disasters do not affect everybody equally. They highlight the preexisting vulnerabilities and inequalities. Marginalized populations hit by a disaster can be further marginalized in the process of reconstruction, which opens up business chances and opportunities for pushing unpopular policy reforms. Sometimes, this reconstruction process ends up becoming a greater disaster than the original event.</p> <p>The characterization of certain events and situations as “disasters” become a crucial turning point. What makes a disaster a “disaster,” separate from mundane sufferings and ordinary experiences? What are the effects of characterizing certain events or situations as “disasters”? And what are the effects of projection of future disasters on everyday life? In this class we look at the cases like earthquakes and tsunamis, hurricanes, oil spills, and toxic waste contamination, as well as issues of gentrification and pandemic preparedness, and ordinary state of vulnerability and precarity and everyday violence that may be excluded from the title of “disasters.”</p>					
【テキスト】					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
1) Participation (Notes)		40%			
2) Final Essay		60 %			

・対面授業科目

半遠隔/半対面型授業(教養教育科目) オンラインの形式:半オンデマンド(半対面)型・ Teams 使用(予定)				01001
授業科目名: 数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名: 國米 充之	
Basic Mathematical and Data Sciences			50分×2(月曜3・4限)	
履修年次 1~4	1 単位	第3学期	2コマ	定員 10名
<p>【授業の目的】</p> <p>データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する。</p> <p>(文系学生対象)</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>滋賀大学 ds-mooc 教材を活用し以下の内容を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現実の課題に対するデータサイエンスの役割を理解 ● データの基本的な分析方法を理解し、コンピュータを用いて実践 ● データサイエンスの応用事例を知り、機械学習の基礎を理解 <p>授業計画:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会におけるデータサイエンス(1) 2. データ分析の基礎(1) 3. コンピュータを用いたデータ分析 4. データ分析の基礎(2), 現代社会におけるデータサイエンス(2) 5. データサイエンスの応用事例 6. 経済・経営分野におけるデータ活用の事例 7. 機械学習の基礎 <p>なお、毎回、PC を用いた確認テスト等を実施するので、用意して授業に臨むこと</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>“大学生のためのデータサイエンス(I), (II) オフィシャルスタディノート”, 滋賀大学データサイエンス学部 編, 日本統計協会</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>滋賀大学 ds-mooc による確認テスト、岡大 Moodle での小テスト、ならびに演習課題提出により総合的に評価する</p>				

半遠隔/半対面型授業(教養教育科目) オンラインの形式:オンデマンド型・Moodle 及び gacco オンライン教材使用				01002
授業科目名:数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名:市岡 優典	
Basic Mathematical and Data Sciences			50分×2(月曜3・4限)	
履修年次 1~4	1 単位	第3学期	2コマ	定員 20名
<p>【授業の目的】 データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する。また、各自のPCを用いて、データ分析の実習に実際に取り組む。 (理系学生対象)</p>				
<p>【授業内容】 Moodleにて説明動画視聴や実習の内容を指示し、課題を提出する形式です。 授業計画は教科書の単元に沿って以下の通りに進めますが、対面授業の回については、ノートPC持参で対面での実習(一般教育棟B33講義室)と、オンデマンドの授業記録動画を視聴しての各自での実習のいずれかを選択できます。</p> <p>第1週[対面授業、Excel] 2.データ分析の基礎(1~2)、3.コンピュータを用いたデータ分析(1~2)</p> <p>第2週[gacco オンライン教材] 1.現代社会におけるデータサイエンス(1~6)、2.データ分析の基礎(3~5)</p> <p>第3週[対面授業、Excel, R] 2.データ分析の基礎(6~7)、3.コンピュータを用いたデータ分析(3~4)</p> <p>第4週[gacco オンライン教材] 2.データ分析の基礎(8~10)、1.現代社会におけるデータサイエンス(7~10)</p> <p>第5週[対面授業、R, Python] 3.コンピュータを用いたデータ分析(5~7)</p> <p>第6週[gacco オンライン教材] 4.データサイエンスの応用事例(1~9)</p> <p>第7週[対面授業、Python] 3.コンピュータを用いたデータ分析(7~9)</p> <p>※理学部学生対象のクラスでの履修になります。</p>				
<p>【テキスト】 「大学生のためのデータサイエンス(I) オフィシャルスタディノート」 滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340094) 及び、対応した gacco オンライン教材</p>				
<p>【参考図書】 「大学生のためのデータサイエンス(II) ---ビジネスにつながる「機械学習」の基礎知識から先進事例まで--- オフィシャルスタディノート」 滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340537) 「統計学 I :データ分析の基礎」 日本統計学会編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340421)</p>				
<p>【成績評価の方法】 確認テスト(gacco オンライン教材)、および、授業での課題(小テストを含む)の Moodle への提出により評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01003
授業科目名:健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名:鈴木 久雄	
Health and Sports Sciences				
履修年次 1~4	1 単位	通年	1コマ	4月14日, 1月19日は必ず出席すること。授業は水曜日 18時30分より開始するので要注意。
【授業の目的】 科学的な視点から運動やスポーツ, 健康について学び, スポーツ実践や健康づくりに役立てる。また, 個々人が自ら設定した課題を探究し, 理論と実践の融合をはかる。				
【授業内容】 I 4月14日(水) オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室) II 下記の講義 1)~8)より 7回以上受講すること。 場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室。 1) 4月21日(水)スポーツにおける膝関節に生じる問題について 2) 5月19日(水)スポーツが栄養で差が出る?~種目とシーズン別の食事~ 3) 6月23日(水)応急手当 4) 7月14日(水)オリンピックまでの失敗と成功 (仮) 5) 10月20日(水)スポーツと腰痛 6) 11月17日(水)「鋼」のメンタルを手に入れる ステップ 1(仮) 7) 12月 8日(水) スポーツテクニックの進化と後退について 8) 1月19日(水) スポーツと法 III 1月19日(水) 講座後まとめ(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室)				
【テキスト】 テキストは使用しない。毎回, 資料およびレポート用紙を配布する。				
【参考図書】 特になし				
【成績評価の方法】 7回分の講義レポート 80%, ディスカッション 20%より評価する。				

対面授業(教養教育科目)				01005
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	2学期	2コマ 火 5・6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履 修願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し てください。 1学期と2学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験</p>				
<p>【テキスト】 プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01006
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	3 学期	2コマ 火 5.6 時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか, それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は,「単位互換履修科目履 修願」に韓国語学習歴を記載した文書 (様式は問いません。)を添えて提出し てください。 3 学期と 4 学期をセットで受講する ことが望ましい。
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び, 作文などを行う)と, 韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ, 易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験</p>				
<p>【テキスト】 プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で, 総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01007
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	4 学期	2コマ 火 5・6 時限	各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか, それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は,「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 3 学期と 4 学期をセットで受講することが望ましい。
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び, 作文などを行う)と, 韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ, 易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回 : 最終試験</p>				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で, 総合的に評価する。</p>				

対面授業(教育学部)				01008	
授業科目名:対話による社会参画入門				担当教員氏名:桑原 敏典	
Introduction to Public Participation through a Conversation					
履修年次 1～4	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(金曜7・8限)	
<p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会が抱える課題を発見し、その原因を探究したうえで、社会の構成員として問題解決に取り組もうとする意欲や態度を育成する。 ・行政やNPOなど地域社会の問題解決に取り組んでいる機関が果たしている役割等を明らかにするための調査や取材の方法を理解する。 					
<p>【授業内容】</p> <p>*この授業は、時間割に定められた時間だけではなく、それ以外の時間に学外で自主的に活動する学習も含まれます。そのことを了解のうえ、受講してください。</p> <p>第1回:社会参画の意義 第2回:社会参画の方法と目的 第3回:地域社会におけるNPOの役割 第4回:NPO活動の実際 第5回:地域課題発見ワークショップの目的 第6回:ワークショップの方法 第7回:ワークショップデザイン 第8回:地域調査の企画 第9回:聞き取り調査の方法と計画 第10回:行政への聞き取り調査 第11回:NPOへの聞き取り調査 第12回:市民への聞き取り調査 第13回:地域調査の成果の整理 第14回:成果報告会の準備 第15回:地域調査の成果報告会 第16回:成果報告会の振り返りと定期試験</p>					
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>					
<p>【参考図書】</p> <p>中野民夫『ワークショップ—新しい学びと創造の場』岩波新書</p>					
<p>【成績評価の方法】</p> <p>地域調査へ取り組む態度等(30点)、地域調査の成果報告(30点)、最終試験(40点)</p>					

対面授業(教育学部)				01009	
授業科目名:中等社会科・公民科授業開発(基礎)			担当教員氏名:桑原 敏典		
Method of Teaching for the social studies and Civics in a Secondary School(1)					
履修年次 2~4	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(月曜1・2限)	
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。 3. 様々な社会科・公民科授業実践の分析を通して, それらの授業構成の理論と方法を把握する。</p>					
<p>【授業内容】 第1回:一般的な社会科・公民科授業の特徴 第2回:一般的な社会科・公民科授業の問題点 第3回:授業分析の目的と方法 第4回:社会科・公民科のねらい—市民的資質育成論— 第5回:「政治・経済」(経済領域)の授業構成 第6回:「政治・経済」(経済領域)の授業分析 第7回:「政治・経済」(政治領域)の授業構成 第8回:「政治・経済」(政治領域)の授業分析 第9回:「公共」(法教育)の授業構成 第10回:「公共」(法教育)の授業分析 第11回:「公共」(環境教育)の授業構成 第12回:「公共」(環境教育)の授業分析 第13回:「倫理」の授業構成 第14回:「倫理」の授業分析 第15回:社会科・公民科授業構成の課題 試験</p>					
<p>【テキスト】 ・使用しない。</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年、2620円＋税</p>					
<p>【成績評価の方法】 試験(90点), 受講態度(10点)を総合的に評価する</p>					

対面授業(教育学部)				01010
授業科目名:中等社会科・公民科授業開発(応用)			担当教員氏名:桑原 敏典	
Method of Teaching for the social studies and Civics in a Secondary School(2)				
履修年次 2~4	1単位	第4学期	2コマ	50分×2(月曜1・2限)
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な社会科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 探求としての社会科授業構成のねらいと方法を理解する。 3. 社会科授業分析や指導案作成のための基礎的な力を養う。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 一般的な社会科授業の特徴 第2回 一般的な社会科授業の問題点 第3回 社会科授業の目標原理 第4回 中学校社会科の目標としての科学的説明 第5回 社会科授業構成と科学的探求の構造 第6回 探求としての社会科授業構成の原理 第7回 探求としての社会科授業構成の方法 第8回 中学校社会科公民的分野政治学習の授業構成 第9回 中学校社会科公民的分野政治学習の授業分析 第10回 中学校社会科公民的分野経済学習の授業構成 第11回 中学校社会科公民的分野経済学習の授業分析 第12回 中学校社会科公民的分野法学習の授業構成 第13回 中学校社会科公民的分野法学習の授業分析 第14回 社会科授業構成の方法 第15回 社会科授業構成の課題 試験</p>				
<p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年、2620円＋税</p>				
<p>【成績評価の方法】 試験(90点)、受講態度(10点)を総合的に評価する</p>				

対面授業(理学部)				01011
授業科目名: 動物行動学			担当教員氏名: 吉井大志	
Animal Behavior				
履修年次 1~4	2 単位	第 1・2 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 1・2 限)
【授業の目的】 授業では動物行動学の基礎について解説する。学習目標はヒトを含む動物の行動の至近的・究極的要因を学ぶことである。				
【授業内容】 第 1 回 講義の概要/行動学の歴史 第 2 回 基礎的な行動 第 3 回 動物の進化 第 4 回 生得的な行動 第 5 回 探索行動 第 6 回 定位行動 第 7 回 動機付けと行動の発達 第 8 回 前半のまとめとテスト 第 9 回 学習と記憶 第 10 回 コミュニケーション1 第 11 回 コミュニケーション2 第 12 回 行動遺伝学 第 13 回 行動生態学 第 14 回 社会性行動 第 15 回 環境と行動 第 16 回 後半のまとめとテスト				
【テキスト】 なし。講義中に資料を配布する。				
【参考図書】 なし。				
【成績評価の方法】 試験(70%)、レポートと授業態度(30%)				

対面授業(歯学部/教養教育科目)				01012																			
授業科目名:痛みの科学			担当教員氏名:宮脇卓也・他																				
Essays on pain																							
履修年次 1~4	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(月曜1・2限)																			
<p>【授業の目的】 痛みは生体に対する初期警告信号であり, 誰もが日常で経験するが, 過剰で持続すれば生活を困難にする。痛みの種類とその発生機序, 様々な病態, 最新の臨床に基づいた治療法について概説する。痛みを多面的に学習することにより生体機能の恒常性に果たすその役割を理解し, 日常の健康維持について考えることを目的としている。</p>																							
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 痛みの科学概説(1)</td> <td>10. 痛みの臨床(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 痛みの科学概説(2)</td> <td>11. 痛みの臨床(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 痛みの神経解剖学(1)</td> <td>12. 痛みの臨床(3)</td> </tr> <tr> <td>4. 痛みの神経解剖学(2)</td> <td>13. 痛みの臨床(4)</td> </tr> <tr> <td>5. 痛みの神経生理学(1)</td> <td>14. 痛みの臨床(5)</td> </tr> <tr> <td>6. 痛みの神経生理学(2)</td> <td>15. 痛みの臨床(6)</td> </tr> <tr> <td>7. 痛みの神経薬理学(1)</td> <td>16. 痛みの科学のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 痛みの神経薬理学(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 痛みの臨床(1)</td> <td></td> </tr> </table>						1. 痛みの科学概説(1)	10. 痛みの臨床(1)	2. 痛みの科学概説(2)	11. 痛みの臨床(2)	3. 痛みの神経解剖学(1)	12. 痛みの臨床(3)	4. 痛みの神経解剖学(2)	13. 痛みの臨床(4)	5. 痛みの神経生理学(1)	14. 痛みの臨床(5)	6. 痛みの神経生理学(2)	15. 痛みの臨床(6)	7. 痛みの神経薬理学(1)	16. 痛みの科学のまとめ	8. 痛みの神経薬理学(2)		9. 痛みの臨床(1)	
1. 痛みの科学概説(1)	10. 痛みの臨床(1)																						
2. 痛みの科学概説(2)	11. 痛みの臨床(2)																						
3. 痛みの神経解剖学(1)	12. 痛みの臨床(3)																						
4. 痛みの神経解剖学(2)	13. 痛みの臨床(4)																						
5. 痛みの神経生理学(1)	14. 痛みの臨床(5)																						
6. 痛みの神経生理学(2)	15. 痛みの臨床(6)																						
7. 痛みの神経薬理学(1)	16. 痛みの科学のまとめ																						
8. 痛みの神経薬理学(2)																							
9. 痛みの臨床(1)																							
<p>【テキスト】 必要に応じてプリント等を配布する。</p>																							
<p>【参考図書】 授業中に紹介する。</p>																							
<p>【成績評価の方法】 毎回授業終了時にレポート提出を課し, 出席点と併せて総合評価する。</p>																							

対面授業(薬学部)				01013	
授業科目名:薬用植物学			担当教員氏名: 谷口 抄子		
Medicinal Botany					
履修年次 1年次	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(火曜7・8限)	
【授業の目的】 植物の医療への利用について概説できる。植物の分類と成分との関係について概要を説明できる。主要な薬用植物の分類上の位置とその利用について説明できる。					
【授業内容】 植物は疾病の予防や治療に利用されてきた長い歴史があり、近代になってこれらに科学的な裏づけが加えられるようになるとともに、植物から得られた成分を元に多くの医薬品が生み出されてきている。本講義では薬用植物の医療への利用について概説する。					
【教科書】 「薬用植物学」改訂第7版(南江堂) 監修: 水野瑞夫 編集: 木村孟淳/田中俊弘/酒井英二/山路誠一 ISBN: 978-4-524-40307-3					
【参考図書】 「最新薬用植物学」奥田拓男編(廣川書店) 「大系・薬用植物資源学」(京都廣川書店) 各種の植物図鑑等を参考にして、植物の形態や分類に関する学習を進めると良い。また、有機化学関係の書籍を参考にして、化合物群に共通の構造の理解を深めると良い。					
【成績評価の方法】 【評価方法・評価基準】 講授業への取り組み状況(50%)およびレポート(50%) シヤトルカードに反映された授業内容への理解を含む。シヤトルカードには授業内容の要点を示すこと。授業内容の理解度の確認のためさらに演習問題をも行う。 【評価者】 授業担当教員 【評価時期】 学期末					

対面授業(工学部)				01014	
授業科目名:分散データ管理演習			担当教員氏名: 横平 徳美, 野上保之, 福島 行信, 長田 繁幸, 小寺 雄太, 谷本 親哉		
Distributed Data Management Lab					
履修年次 3~4	1 単位	夏季集中	14 コマ	50 分 × 14 (9/9~9/10 : 2 日間)	
<p>【授業の目的】 離散数学と公開鍵暗号の基礎知識を学習する。秘密分散共有法と分散復号を学習し、実装演習および解読実験を通して理解を深める。また、セキュリティ対策について学ぶために、CTF 演習を通して攻撃者の利用するツールの特性や視点を理解して、効果的な対策方法を検討できるようになる。</p>					
<p>【授業内容】 近年、分散データ管理が重要なテーマである。本科目では、分散データ管理を実現するのに必要な秘密分散共有法についてその理論と実装について学ぶ。また、効果的なセキュリティ対策を講じられるように、攻撃者がもつ技術や視点を、ゲーム形式(CTF: Capture The Flag)で学習する。</p>					
<p>【テキスト】 Web で資料を配布する</p>					
<p>【参考図書】 コンピュータ数学関連書籍</p>					
<p>【成績評価の方法】 レポートにより評価する</p>					

対面授業(工学部)				01015	
授業科目名:セキュリティ実装演習 A			担当教員氏名: 野上 保之, 小寺雄太, 谷本 親哉		
Security Implementation A Lab					
履修年次 3~4	1 単位	夏季集中	15 コマ	50 分×15(9/16~9/17 : 2 日間)	
<p>【授業の目的】 楕円曲線暗号を具体的な例として公開鍵暗号の役割を学び、その計算量的な観点からの安全性について学ぶ。そして、鍵長などのセキュリティパラメータの適切な設定について、衝突型解読攻撃を実装・実験することにより、具体的に理解する。</p>					
<p>【授業内容】 IoT 時代において情報を他人に盗み見られることなく安全に交換するために暗号技術は重要な役割を果たす。その中で、楕円曲線暗号や RSA 暗号など公開鍵暗号は、ユーザや機器を電子的に認証するために用いられており、その鍵長などセキュリティパラメータは、計算量的な安全性評価に基づいて適切に設定されなければならない。本演習では、楕円曲線暗号を具体的なターゲットとして、衝突型の暗号解読攻撃プログラムを実装し、その計算量的な安全性の評価方法について学ぶ。</p>					
<p>【テキスト】 Web で資料を配布する</p>					
<p>【参考図書】 コンピュータ数学, プログラミング関連書籍</p>					
<p>【成績評価の方法】 出席とレポートにより評価する</p>					

対面授業(工学部)				01016
授業科目名:セキュリティ実装演習 B			担当教員氏名:野上 保之, 五百旗頭 健吾, 小寺 雄太, 谷本 親哉	
Security Implementation B Lab				
履修年次 3~4	1 単位	第 4 学期 集中	15 コマ	50 分×15 (12/27~12/28 : 2 日間)
<p>【授業の目的】 暗号技術の歴史、現代暗号の原理、アプリケーションを学び、IoT 時代において情報や社会システム、インフラ等の安全性がどのように担保されているかを学ぶ。また、暗号アルゴリズムのハードウェア実装の基礎を学ぶ。さらに暗号のハードウェア実装に対するサイドチャネル攻撃の原理を学び、暗号技術への多様な脅威についてその原理及び対策技術に関する基礎知識を習得する。</p>				
<p>【授業内容】 IoT 時代において情報を他人に盗み見られることなく安全に交換するために暗号技術は重要な役割を果たす。その一方で暗号計算のハードウェア実装の仕方によっては、その理論的な解読困難さにも関わらず物理的な手段によって短時間で解読できる攻撃(サイドチャネル攻撃)が知られている。本講義では、暗号技術の歴史と原理、用途について学ぶとともに、ハードウェア実装を体験し、その基礎を学ぶ。さらに、ハードウェア実装された暗号計算に対するサイドチャネル攻撃による解読を体験し、攻撃原理とその防御のための基礎知識を学ぶ。</p>				
<p>【テキスト】 Web で資料を配布する</p>				
<p>【参考図書】 コンピュータ数学, プログラミング, 回路理論, 論理回路に関する書籍</p>				
<p>【成績評価の方法】 出席とレポートにより評価する</p>				

対面授業(農学部)				01017																												
授業科目名: 農場体験実習			担当教員氏名: 齊藤 邦行																													
Experience of Farm Practice																																
履修年次 1~4年	1単位	夏季集中	集中3日間	学研災加入を履修の条件とする																												
<p>【授業の目的】 農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおいて、実際の農場運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の重要性を理解する。</p>																																
<p>【授業内容】本年度は牧場宿泊施設の利用を行いません。</p> <p>1. 受講を希望する学生は事前に担当教員(ksaitoh@以下はokayama-u.ac.jp)に直接メールにて問い合わせして下さい。 8月6日(金)17:00より、農学部第3講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。</p> <p>2. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9月27, 28, 29日)、以下のような要領で実習を行います。</p> <p>1)野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)の運営をそれぞれ体験する。 2)教員・技術職員とともに作業を行い、その必要性、合理性ならびに農業技術の体系を習得する。 3)実習日程(詳細および変更のある場合は、オリエンテーションの際に説明する)</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>9月27日(月)</th> <th>9月28日(火)</th> <th>9月29日(水)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30-12:00 センター紹介</td> <td>9:00-10:15 果樹の管理1</td> <td>9:00-9:30 移動(津高牧場)</td> </tr> <tr> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>10:30-11:45 果樹の管理2</td> <td>9:45-10:45 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>13:15-15:00 野菜の管理1</td> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>11:00-12:00 和牛の管理</td> </tr> <tr> <td>15:15-17:00 野菜の管理2</td> <td>13:15-15:00 ブドウの収穫</td> <td>12:00-12:30 移動(岡山農場)</td> </tr> <tr> <td>17:00 解散</td> <td>15:15-17:00 ブドウの品質測定</td> <td>12:30-14:00 昼食(生協等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00 解散</td> <td>14:00-15:30 稲刈り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>15:30-16:00 着替え</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>16:00 解散</td> </tr> </tbody> </table> <p>4)終了後レポートはメールにて提出する。</p>						9月27日(月)	9月28日(火)	9月29日(水)	10:30-12:00 センター紹介	9:00-10:15 果樹の管理1	9:00-9:30 移動(津高牧場)	11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 果樹の管理2	9:45-10:45 草地の管理	13:15-15:00 野菜の管理1	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理	15:15-17:00 野菜の管理2	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)	17:00 解散	15:15-17:00 ブドウの品質測定	12:30-14:00 昼食(生協等)		17:00 解散	14:00-15:30 稲刈り			15:30-16:00 着替え			16:00 解散
9月27日(月)	9月28日(火)	9月29日(水)																														
10:30-12:00 センター紹介	9:00-10:15 果樹の管理1	9:00-9:30 移動(津高牧場)																														
11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 果樹の管理2	9:45-10:45 草地の管理																														
13:15-15:00 野菜の管理1	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理																														
15:15-17:00 野菜の管理2	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)																														
17:00 解散	15:15-17:00 ブドウの品質測定	12:30-14:00 昼食(生協等)																														
	17:00 解散	14:00-15:30 稲刈り																														
		15:30-16:00 着替え																														
		16:00 解散																														
<p>【テキスト】 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。</p>																																
<p>【参考図書】 応用植物科学栽培実習マニュアル, 森源治郎ほか監修, 養賢堂, 東京(2000)ISBN4-8425-0058-1</p>																																
<p>【成績評価の方法】 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。</p>																																

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム/教養教育科目)				01018	
授業科目名:開発学入門			担当教員氏名: 山本由美子		
Introduction to Development Studies			Yumiko Yamamoto		
履修年次 1~4	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(火曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 Students will learn the different facets of development and discuss the key development issues and emerging issues with a focus on the Asia-Pacific countries. This class will take a multidisciplinary approach to understand and discuss 'development,' drawing from multiple disciplines such as economics, history, environmental studies, health and nutrition among others.</p>					
<p>【授業内容】 This is an introductory course on development studies, with a focus on a development discourse in the postwar period. The course is designed for the students who wish to work in the fields of international development or international business in the future. Other students who are willing to obtain basic knowledge in development are encouraged to attend as well. Through the in-class discussions and research projects, students will have opportunities to gain in-depth understanding of the development issues in selected countries in the Asia-Pacific or in other regions.</p>					
<p>【テキスト】 No textbooks. Journal articles and book chapters will be assigned each week (see below).</p>					
<p>【参考図書】 Todaro, M.P. and S.C. Smith (2015). <i>Economic Development</i>. UK: Pearson. United Nations (UN). 2000. <i>Millennium Declaration</i>. NY: UN. United Nations (UN). 2015. <i>Transforming our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development</i>. NY: UN. UNESCAP. 2019. <i>The 2019 Asia-Pacific SDG Baseline Report</i>. Bangkok: UNESCAP.</p>					
<p>【成績評価の方法】 Active participation 30%, Short weekly assignments (total of 5) 50%, Research paper 20%</p>					

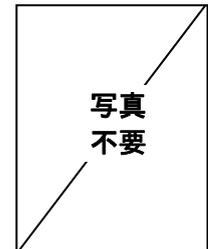
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部		学科	年	
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成・令和 年 月 日		
現住所	〒 — Tel () —				
メールアドレス	@				

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

* 履修受付締切日： 第1～2学期：4月2日(金)15時まで 第3～4学期：9月24日(金)15時まで

* 区分(教養/専門)： 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
遠隔授業科目										
01101	フランス語コミュニケーション1	専門	延味 能都 萩原 直幸	2	第1・2 学期	1～4		火 8:40～10:30		
01102	フランス語コミュニケーション2	専門	延味 能都 萩原 直幸	2	第3・4 学期	1～4		火 8:40～10:30		
01103	法哲学	専門	大森 秀臣	2	前期	3・4	状況に応じては授業形態が遠隔授業から対面授業に変更する場合があります。	金 18:00～19:30		
01104	保健科学入門	専門	齋藤 信也	1	第1 学期	1	若干名(オンライン授業)	火 8:40～10:50		
01105	機械システム系概論 電気通信系概論 情報系概論 化学生命系概論	教養	佐藤 治夫 他	2	第1 学期 集中	1～4	各系4回相当をビデオオンデマンドによるオンライン講義で開講	第1回 4/26～5/9 第2回 5/10～5/16 第3回 5/17～5/23 第4回 5/24～5/30		
01106	応用数理特論A	専門	大林 一平	1	第1 学期	3～4		金 13:25～15:15		
01107	Culture and Illness	専門	上杉 健志	2	第1 学期	1～4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	月・木 15:30～17:20		
01108	Anthropology of Disaster	専門	上杉 健志	2	第2 学期	1～4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること。	月・木 13:25～15:15		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
01001	数理・データサイエンスの基礎	教養	國米 充之	1	第3学期	1~4	文系学生対象	月 10:45~12:35		
01002	数理・データサイエンスの基礎	教養	市岡 優典	1	第3学期	1~4	理系学生対象	月 10:45~12:35		
01003	健康・スポーツ科学 C	教養	鈴木 久雄	1	1~4 またがり	1~4		水 18:30~20:10		
01004	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1学期	1~4	詳細はシラバス参照 第1学期と第2学期を合わせて 受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01005	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2学期	1~4		火 13:25~15:15		
01006	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3学期	1~4	詳細はシラバス参照 第3学期と第4学期を合わせて 受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01007	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4学期	1~4		火 13:25~15:15		
01008	対話による社会参画入門	専門	桑原 敏典	1	第3学期	1~4		金 15:30~17:20		
01009	中等社会科・公民科 授業開発(基礎)	専門	桑原 敏典	1	第3学期	2~4		月 8:40~10:30		
01010	中等社会科・公民科 授業開発(応用)	専門	桑原 敏典	1	第4学期	2~4		月 8:40~10:30		
01011	動物行動学	専門	吉井 大志	2	第1・2学期	1~4		月 8:40~10:30		
01012	痛みの科学	教養	宮脇 卓也 他	1	第2学期	1~4		月 8:40~10:30		
01013	薬用植物学	専門	谷口 抄子	1	第1学期	1		火 15:30~17:20		
01014	分散データ管理演習	学科 専門科目	横平 徳美, 野上 保之, 福島 行信, 長田 繁幸, 小寺 雄太, 谷本 親哉	1	夏季集中		理工系かつ3年次生以上	夏季集中期間 (9/9~9/10, 2日間)		
01015	セキュリティ実装演習 A	学科 専門科目	野上 保之, 小寺 雄太, 谷本 親哉	1	夏季集中		理工系かつ3年次生以上	夏季集中期間 (9/16~9/17, 2日間)		
01016	セキュリティ実装演習 B	学科 専門科目	野上 保之, 五百旗頭健吾, 小寺 雄太, 谷本 親哉	1	第4学期集中		理工系かつ3年次生以上	第4学期集中期間 (12/27~12/28, 2日間)		
01017	農場体験実習	専門	齊藤 邦行	1	夏季集中	1~4	●開催場所:岡山大学農学部山陽圏フィールド科学センター ●定員 15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。	夏季集中 (9/27~29, 3日間)		
01018	Introduction to Development Studies	教養	山本 由美子	1	第1学期	1~4	大学のウェブシラバスを確認し, 事前に担当教員の許可を得ること。	火 15:30~17:20		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚